

授業科目名称 : 医学概論

授業コード : 53019

授業科目英文名称 : Introduction to Medicine

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
大町いづみ（実務経験のある教員）、廣田昌彦（実務経験のある教員）			
展開方法	講義		
ナンバリング	DA201		
添付ファイル			

ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標	評価手段・方法	評価比率
専門力	(1)健康および疾病を医学的に捉えることができる。 (2)人体の構造と機能について医学的に理解できる。 (3)医学に関する質問に対して自分の考えを整理して説明できる。	・定期試験 ・授業内小テスト	75% 5%
情報収集、分析力			
コミュニケーション力			
協働・課題解決力	健康の概念・疾病について理解が十分に得られ、現実在即した問題解決のための思考・判断により福祉的な支援の方法を説明できる。	・定期試験	10%
多様性理解力	専門的知識を基盤として実際のあらゆる場面に即した対応ができる。	・定期試験	10%
出席		受験要件	
合計		100%	

授業のねらい	本授業では、レベルの高い福祉業務を遂行していくために必要な心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要を日常生活との関係をも踏まえて理解することを目標とする。この目標を達成するために、各ライフステージにおける心身の変化と様々な健康課題、健康・疾病の捉え方をもとに、人の心身機能・身体構造の理解の上にたった疾病と障害の成り立ち及び回復過程についての理解を深める。さらに、公衆衛生の観点から人々の健康課題に及ぼす要因を解決するための対策を理解する。専門力の獲得を中心に実際のあらゆる場面において得られた理解を適切に活用できるようにすることが目標である。医学関連の授業は専門的な語句も多く、やや難解と思われるが、学生諸君も意欲的に勉強して、必ず医学の幅広い知識を修得し、将来の様々な現場で役立ててほしい。				
アクティブラーニングの類型	①②③⑨				
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	定期試験の成績を95%とし筆記試験を行う。随時授業中に課した課題を評価するために「授業内小テスト」(5%)を行い、その結果を本人に伝え、理解を徹底させる。その都度フィードバックを行い確認する。				
授業概要	医学全般に実務経験を持つ医師および看護師が担当し、講義室での授業を主とする。あらかじめ各項目ごとに作成された資料をマナバにアップロードし、解説する。それぞれの講義の最後に理解度テストを行い、ポイントを理解させる。学生はできるだけ質問し双方向の授業とする。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。				
教科書・参考書・指定図書	教科書：特に指定しない 参考書：特に指定しない 指定図書：「新・社会福祉士養成講座 1 人体の構造と機能及び疾病 第3版」、中央法規				
授業外における学修及び学生に期待すること	次回授業のテーマについてはあらかじめ伝え、マナバにアップロードしているので自分なりに大まかに概要をつかんできてほしい。また事前学習の際に生じた疑問点や授業中の疑問点は、小さなことでも良いので必ず質問してほしい。また、マナバを活用し十分な復習を行って欲しい。医学関連の授業は専門的な語句も多く、やや難解と思われるが、学生諸君も意欲的に勉強して、必ず医学の幅広い知識を修得し、将来の様々な現場で役立ててほしい。				
授業計画	回	テーマ	授業の内容	予習・復習	担当教員
	1	健康及び疾病の捉え方と各ライフステージにおける心身の変化と健康課題	健康及び疾病の概念の理解と各ライフステージにおける健康課題について学ぶ。国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方について学ぶ。	健康・疾病と健康課題についての予習、復習。	大町
	2	身体構造と心身機能(からだのしくみの理解) —1	人体の解剖学と生理学について学ぶ。	人体の解剖学と生理学についての復習。各臓器・各器官の生理学的機能についての予習。	廣田
	3	身体構造と心身機能(からだのしくみの理解) —2	各臓器・各器官の生理学的機能について学ぶ。	各臓器・各器官の生理学的機能についての復習。神経系疾患についての予習。	廣田

4	疾病と障害の成り立ち及び回復過程—1	脳血管障害を含む神経系疾患について学ぶ。	神経系疾患についての復習。認知症についての予習。	廣田
5	疾病と障害の成り立ち及び回復過程—2	様々な原因による認知症について学ぶ。	認知症についての復習。循環器系・呼吸器系疾患についての予習。	大町
6	疾病と障害の成り立ち及び回復過程—3	循環器系・呼吸器系疾患について学ぶ。	循環器系・呼吸器系疾患についての復習。消化器系疾患についての予習。	廣田
7	疾病と障害の成り立ち及び回復過程—4	消化器系疾患について学ぶ。	消化器系疾患について復習。内分泌・代謝系疾患についての予習。	廣田
8	疾病と障害の成り立ち及び回復過程—5	生活習慣病を含む代謝・内分泌系疾患について学ぶ。	内分泌・代謝系疾患について復習。アレルギー・リウマチ膠原病疾患についての予習。	廣田
9	疾病と障害の成り立ち及び回復過程—6	アレルギーの概念・主なリウマチ膠原病疾患について学ぶ。	アレルギー・リウマチ膠原病疾患についての復習。感染症についての予習。	廣田
10	疾病と障害の成り立ち及び回復過程—7	感染症法・感染病原体の基礎知識・主な感染症について学ぶ。	感染症疾患についての復習。腎・泌尿器系疾患についての予習。	廣田
11	疾病と障害の成り立ち及び回復過程—8	腎・泌尿器系疾患について学ぶ。	腎・泌尿器系疾患についての復習。血液系疾患についての予習。	廣田
12	疾病と障害の成り立ち及び回復過程—9	血液系疾患について学ぶ。	血液系疾患についての復習。感覚器系及び骨格系疾患についての予習。	廣田
13	疾病と障害の成り立ち及び回復過程—10	感覚器系及び骨格系疾患について学ぶ。	感覚器系及び骨格系疾患についての復習。精神疾患等についての予習。	廣田
14	・精神疾患の障害の成り立ち及び回復過程 ・精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM)の概要・	精神疾患の診断・統計マニュアル (DSM-V) の概要、その他について学ぶ。	精神疾患・DSMについての復習。リハビリテーション・公衆衛生と保健医療との関係についての予習。	廣田
15	・リハビリテーションの概要 ・公衆衛生と医療	リハビリテーションの定義、対象、方法その他について学ぶ。公衆衛生からみた保健医療対策について学ぶ。	リハビリテーション及び公衆衛生と保健医療との関係についての復習。	大町
16	定期試験			